# クマに遭遇しないために

【林野庁】

**皆さんの現場は、クマの生息域です**。常に、近くにクマがいるか もしれないと注意しながら作業しましょう。

| 林業の現場では、特に*冬から春にかけて「巣穴付近での被害」が 発生しています。*|

# クマ類が生息している山林で作業する際は、 以下の事項について注意願います。

- ① 単独行動を避け、鈴やラジオなど音の出るものを携帯し、 人の存在を知らせてください。クマ撃退スプレーの携行も推奨されます。
- ② 混合油などの燃料は、クマの誘引物とされています。 給油場所、保管場所では周囲に注意を払ってください。
- ③ 弁当等の食品管理を徹底してください。 ※においの漏出を防ぐため、丈夫なプラスチックや金属製のフード ロッカーの利用も検討してください。
- ④ 岩陰や乗り越える尾根の先などの見通しの悪い場所では、 クマと突発的に遭遇する可能性があるため、手前で立ち止 まって大きな声を出すなどにより安全を確認してください。
- ⑤ 冬から春先にかけては、倒木、岩穴や木の根上がり等の 空洞といった巣穴(冬眠穴)として利用しそうな場所に は、不用意に近づかないでください。

巣穴の例(撮影:佐藤嘉宏)



倒木の根元



樹洞



樹洞

「遭遇した場合」については裏面へ

詳しくは、環境省作成マニュアル 「クマ類の出没対応マニュアルー改訂版-|を参照願います。



# クマ類に遭遇した際にとるべき行動

## (1) 遠くにクマがいることに気がついた場合

落ち着いて静かにその場から立ち去ります。

# (2) 近くにクマがいることに気がついた場合

クマを見ながらゆっくり後退する、静かに語りかけながら後退する、 など落ち着いて距離をとるようにします。

慌てて走って逃げてはいけません。

## (3) 至近距離で突発的に遭遇した場合

攻撃を回避する完全な対処方法はありません。

クマは、顔面・頭部を攻撃することが多いため、両腕で顔面や頭部 を覆い、直ちにうつ伏せになるなどして重大な障害や致命的ダメージを 最小限にとどめることが重要です。

## (4) 親子グマとの遭遇

子連れのクマと遭遇した場合、速やかにその場から離れることが必要です。

## (5)クマ撃退スプレーによる撃退

クマの目や鼻・のどの粘膜にスプレーが当たるよう、顔に向かって噴 射することが重要です。

射程距離は 5 m 程度と短い製品が多いため、十分クマを引き付けてから噴射する必要があります。

クマと遭遇した際の正しい対処法については、環境省作成マニュアル「クマ 類の出没対応マニュアルー改訂版ー」等で確認ください。